

小学生を対象とした不登校特例校分教室の開室について

こども文教委員会 令和5年5月26日
教育委員会事務局 資料4番
所管 指導課

■背景

- ・本区における不登校児童・生徒の出現率は、国や都と同様、増加傾向にある。
- ・不登校となった場合、つばさ教室への通室等により在籍校への復帰支援を受けられるようにしている。
- ・令和3年度から、御園中学校が不登校特例校の指定を受け、その分教室である「みらい学園中等部」を、旧・池上図書館2・3階にて開室した。「みらい学園中等部」は、学ぶ意欲はあるものの、大人数の教室が苦手など、在籍校への復帰が困難となっている生徒の新たな学びと成長の場としている。入室には在籍校から御園中学校への転校が必要であり、「みらい学園中等部」を卒業すると、分教室の本校である御園中学校の卒業生となる。
- ・小学校における不登校児童の出現率は、令和元年度に比べ令和3年度には約2倍となり、中学校より少ないものの増加傾向にある。

・不登校を減らす取組として、学校を休み始めた不登校初期である小学校段階への対応も重要である。

■目的

- ・不登校への早期対応と、小・中一体的に対策を強化していくため、小学生を対象とした不登校特例校分教室を開室する。
- ・運営を通じて得られた不登校対策へのノウハウを在籍校に還元し、令和12年度にふれあいはずめま跡へ開校を目指している学校型の不登校特例校運営に繋げていく。

■開室場所

・大森東老人いこいの家2・3階部分(旧・大森東四丁目センター部分)
※大森第四小学校の分教室として開室

■開室予定時期

・令和6年4月1日

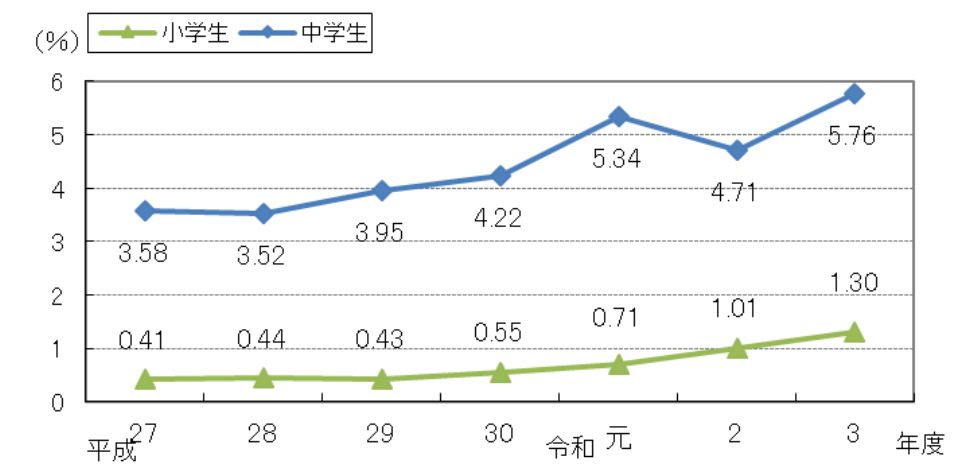
■対象

・小学校第4～6学年の児童。1学年8名・計24名の予定。

■実施する教育活動(予定)

・「みらい学園中等部」と同様、不登校児童を対象として、その実態に配慮した特別な教育課程を編成(予定)。

不登校児童・生徒出現率の推移



在籍校、つばさ教室、不登校特例校が連携した小・中一体的な不登校への早期支援

